

平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

1. 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究
- (イ) 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究

2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
3/99			0/3			0/0			5/247		0/0		0/2		3/131
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/0	2/8	1/91	0/0	0/0	0/3	0/0	0/0	0/0	1/19	4/228	0/0	0/0	0/0	0/2	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：3名（市費負担なし）

※アドバイザーの最終経歴：

公立幼稚園長経験者、公立幼稚園および小学校長経験者、公立保育所長経験者

(2) センターの設置：

- ・設置年度：設置済み（平成 28 年度 4 月）
- ・設置形態：センターなど、組織として設置

3. 成果

(1) アウトプット

① 指導内容、指導方法、指導環境の改善

- ・ 幼児教育推進員 3 名によるモデル保育所（園）、幼稚園、小学校訪問（保育・授業参観、訪問振り返り会におけるアドバイスや指導助言）（年度合計 111 回）
- ・ 平成 29 年度より、市内全ての保育所（園）、幼稚園、認定こども園の 5 歳児、小学校 1 年生を対象とした、幼児教育推進員 3 名・幼児教育アドバイザー 6 名による訪問要請に応じるための訪問実施要項等の作成・周知

・ 連携体制

○幼児教育推進員

主にモデル小学校区を定期的に訪問し、保育・授業参観および指導助言を行う

○幼児教育アドバイザー

モデル小学校区以外の市内全ての保育所（園）・幼稚園・認定こども園の 5 歳児、小学校 1 年生を対象に訪問し、保育・授業参観および指導助言を行う



② 北九州市版保幼小接続カリキュラム（試作版）の作成と周知・普及

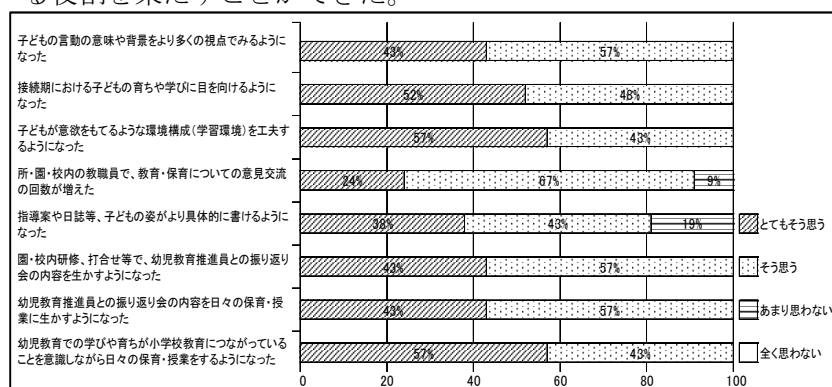
- ・ モデル小学校区の実践を基に作成、周知・普及

③ 情報収集、発信

- ・ 幼児教育に関する研修会における講話等（年度合計12回）
- ・ 幼児教育支援室の保育指導案、幼児教育および保幼小連携・接続に関する書籍の充実
- ・ 幼児教育啓発リーフレット等、様々な方法を用いて市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校、中学校に周知・啓発（中学校はリーフレットのみ配付）
- ・ HPを開設し、情報発信
- ・ 北九州市版広報誌・福岡県版新聞に本事業の取組について掲載

(2) アウトカム

- ・ モデル小学校区の職員等の意識が保幼小の交流・連携から育ちや学びの接続に高まった。
- ・ 幼児教育推進員の訪問により、日々の保育・授業を振り返り、園・校内研修を機能させる役割を果たすことができた。



モデル小学校区ごとの情報交換会において実施したアンケート結果（H28. 12 実施）

4. 上記を含めた、平成 29 年度の実施計画

① 幼児教育推進員・幼児教育アドバイザーによる訪問

- ・ 「幼児教育推進員・幼児教育アドバイザー訪問実施要項」に従い、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小学校を訪問する。課題を基に訪問実施要項の改訂を加え、より効果的な訪問の在り方を工夫する。
- ・ 保幼小連携担当者等に校・園内での中核的な役割を与えることで、ミドルリーダーや次期幼児教育推進員・幼児教育アドバイザーの育成を図る。

② 北九州市版保幼小接続カリキュラム（試作版）の実践・検証、完成版作成

- ・ 北九州市版保幼小接続カリキュラム（試作版）を実践・検証の上、課題を整理し、完成版作成につなぐ。

③ 北九州市版保幼小接続カリキュラム（試作版）に基づく保育関係書籍等の充実、リーフレット、HP、研修会等での情報発信

- ・ リーフレット、HP、研修会等で北九州市版保幼小接続カリキュラム（試作版）の周知・普及や接続期の教育についての理解を図るとともに、幼児教育支援室の取組を積極的に発信し、活用を促す。
- ・ 保育指導案や学習指導案、保育関係書籍等を収集し、閲覧可能な状態にする。